

就職先アンケート(2020.10.27)

今年度の卒業生の就職先40施設に配布し、31部の回答を得ました。(回収率77.5%)

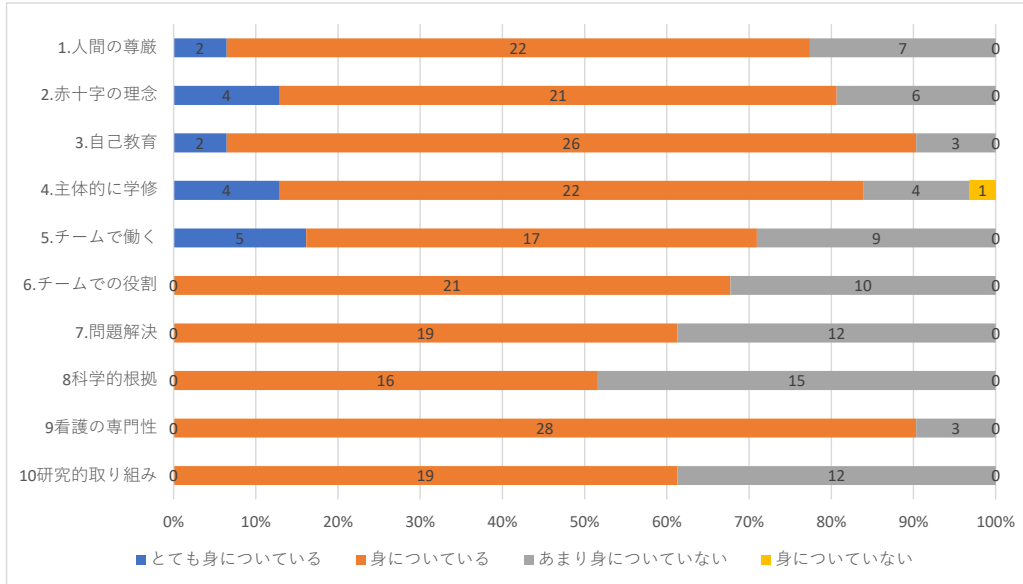
1. 対象の施設規模

	度数	%
100床～299床	5	16.1
300床～499床	11	35.5
500床以上	15	48.4
合計	31	100.0

2. 卒業生人数

	度数	%
5名未満	25	80.6
5～10名未満	5	16.1
10名以上	1	3.2
合計	31	100.0

3. 卒業生にDPで示す力がどれだけ身についているかについて



【自由記述】

- ・学生生活の中でのグローバル社会における健康ニーズとは、どのように学習し、問題解決力を身につけるのかを知りたい。
- ・問題解決力、専門性を探究する力の評価の目標がレベル1の目標との相違があるため、評価が難しい。「できる」ように努力する姿は見受けられます。
- ・この1年で実践する機会がない項目もあり、「身につけていない」とするには至らず、本人の可能性を推察して「3」にしました。
- ・現段階で不足している部分はありますが、日々の看護実践や係活動への取り組み、集合教育での学びを通して、成長できるよう支援しているところです。
- ・当院の今年度の卒業生は2名でそれぞれ他者評価はバラバラなので、傾向として評価を統合させるのは困難だった。いずれの項目も未熟でこれから引き出していかないといけない能力である。
- ・もし具体的な評価項目があると回答しやすいです。何をもって身につけているという判断が難しかったです。
- ・自分のやりたい看護を述べ、興味のあることや、指示されたことを学習する力にはありますが、患者にとって必要なことは何か、看護の専門性を発揮するために、自ら課題を発見すること、その課題達成のために取り組むこと、その効果を評価することには支援が必要です。自らを内省し、看護の視点で考えた時に自分に必要なことは何かと気づく力、患者さんを主に中心に考えていく力をもって卒業してきてほしいと思います。
- ・全体的にバランス良く備わっており、リーダーシップをとれている。
- ・個性もあると思いますが、根拠に基づいた実践だと納得するまで理解しないで前に進めず現場のスピードについていけずにいることがあります。しかし、新人看護師の期間に論理的思考で考えて行動できる人になってほしいと思うので、ゆっくりと成長を見守りたいと思います。
- ・社会人基礎力を身につけていただきたい。
- ・現在、6ヵ月を経過した段階で、まだまだ発展途上にもあり評価が難しいと思いました。特に「問題解決力」については十分に力を発揮できる状態にないと思いました。
- ・それぞれの知識(例えば、老年看護、薬理、解剖生理)はあるのだが、それが患者にどう影響するのか、関連しているのか、統合するところが弱い気がします。
- ・自己教育力の中の主体的に学ぶ力(習慣)に関しては、大学生の時に身につけてほしいと常々感じています。課題を与えられれば、素直に一生懸命してくれるのですが、いつまでも指導者を付けるわけにもいかず、困っているのが現状です。専門職業人の第一歩と考えます。
- ・就職して半年で評価するのは難しいと思います。
- ・自己教育力については、与えられた課題については積極的に取り組んでいる。しかし、自らの状況を評価して、学修をすすめることについては積極性に欠けるところがある。患者・家族の尊厳、権利について問いかけることで学生時に培った知識等を活用して自分の意見を述べることは出来ている。上記の「身につけていない」と評価している部分も自身の意見として述べる場と述べる力がないことでの評価となっていることも考えられる。
- ・社会人としてとても重要な力があると感じます。この力がそのわっていれば、どんな場所であっても活躍できる人材であると思われれます。しかしながら、基本的な部分、社会人として看護師としての接遇や学ぼうとする力が乏しいため、本人の学習状況に応じて手厚く対応させていただいております。
- ・問題に気づく力が弱いように感じる。そのため、解決力に至らないことがある。チームで働く力においては、協調性があり協働出来ていると思われる。
- ・入職して本人自身がまずは病院という環境に慣れる。看護技術を習得することで精一杯だと思います。5つの力は今からではないでしょうか。
- ・全体的に知識は充分備えていると思います。しかし、現場においては素直に指導内容を受け入れる環境への順応力が求められます。指導内容にこれまで習得した事実と個人の考え持って反論されるとチームからはどうしても敬遠されてしまいます。初めての職場で慣れるように働きかけ、チームで働くために必要なことについて当初指導しました。少しずつ受け入れができたように思います。問題解決力に対しては、経験を重ねていくことで習得出来ていけると思います。

・技術の取得だけでなく、5つの力を学習されているのは素晴らしいことと思います。貴校の卒業生はコミュニケーション力もあり、カンファレンス参加時目も輝かせ、看護を語る姿が見られます。教育委員からも中央研修での看護診断の問題に対する回答が優秀だったといわれました。

・卒業後半年であり、5つの力について先輩の支援を受けながら成長している過程です。「看護の専門性を探究する力」においては、現段階では評価が難しい項目だと思います。

4. DSの利用について

	度数	%
DSを活用した	3	9.7
DSを活用しなかった	28	90.3

【DSを活用しなかった理由】

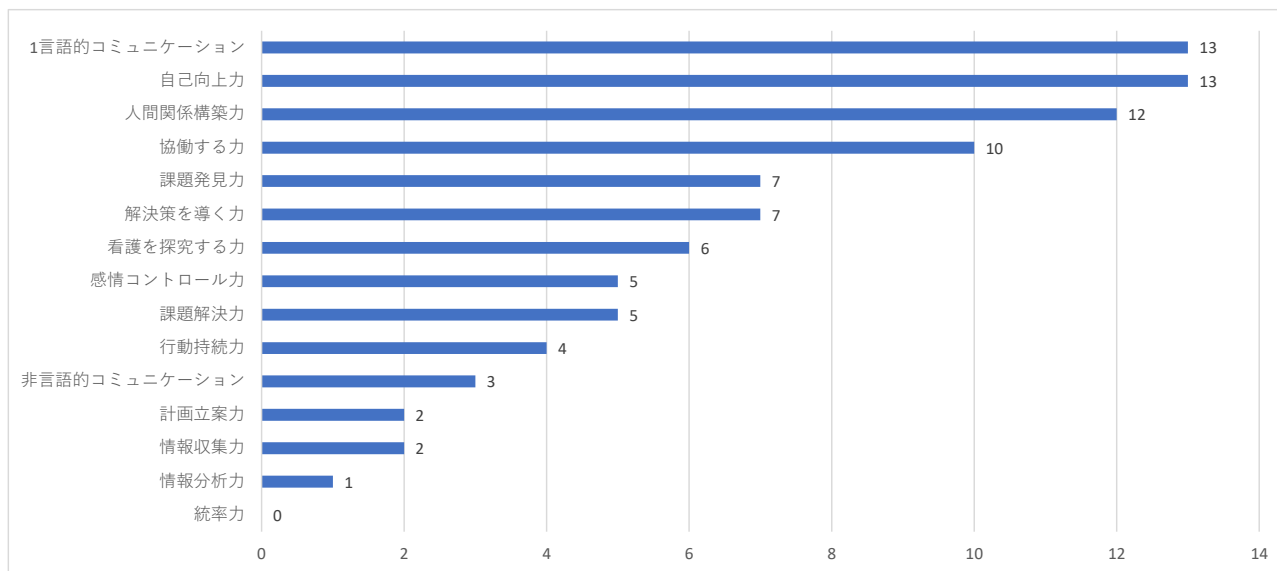
- ・DSの存在を知らなかったため、活用できなかった。本人へ確認し今後の支援に役立てたい。学生から社会人になっての継続的な学習支援として本人へどのように説明され活用すると良いと説明されているのを知りたい。
- ・DSの存在を知らない。どのように活用するかをアピールしてほしい。
- ・本人が持っていて活用方法を知らなかったため
- ・卒業生から申し出がなく、この評価票を活用しなかったため
- ・DSを知らなかったため、活用できませんでした。
- ・卒業生に提示を求めるのを忘れていた。今回、依頼して見せてもらったが、ひとりの卒業生は学生時のことだから就職してからは必要ないと考えたらしく既に処分していた。キャリア開発ラダー指標もあるため、DSをどのように併用するか実績のある施設の方法を教えてください。
- ・今年の卒業生ですが、なかったとっています。
- ・今年度の卒業生には参考として見せてもらったが、H30年度卒の人は参考にしなかった。
- ・上記の取り組みの認識がなかった。当院は入職後に上司と管理室とで面接をしているが、その際学生からの提示もなかった。
- ・病棟まで資料が届かなかった。（看護部には提出していた可能性あり）
- ・今回、この調査票をいただいて初めてDSの存在を知りました。卒業生の〇本人も受け取ってはいましたが、職場で活用するものという認識はなかったと話しており、提出されていなかったためです。

・手術室看護の中で活用できていなかった。

【DSを活用した理由】

- ・臨床では活用しませんでした。
- ・DSは個人のもと考えてますので、共有することを求めて同意が得られれば活用させてもらっています。自らの課題と照らし合わせ、日々の支援に活用させてもらっています。
- ・チームで働く力を持っており、良好なコミュニケーションをとることができています。

5. 本学で強化してほしい力



6. 本学の教育・卒業生に望むこと

・日赤九看大の卒業生といったことで望むことは、特にありません。一緒に看護を行う中で、とても優しく熱心に患者様と接し、同期や先輩と支え合いながら頑張ってくれています。個々の課題にもよりますが、疾患の理解やそれぞれの学修方法については習得した上で自己学習が望めるとより良いと感じました。

・実践力の問題解決力や看護の専門性を探究する力は実践を重ねるごとに力がついてくると思います。対人関係の業務が多いので、自分や相手を知る対話力と看護の思い、動機付けを強化できると良いと思います。

・今後、DSを参考にさせていただき、貴大学の卒業生にあった支援が出来るよう活用したいと思います。

・看護師として働きたことに責任を持ち、自ら学ぶ姿勢を大事にさせたい。赤十字の大学で特化した部分を学んでくるので、愛着をもって組織に貢献できる人材を育てたい。

・コロナ禍の中でとても頑張っています。引き続き成長できるよう支援していきます。

- ・赤十字の卒業生には、困っている人に手を差し伸べようとする人道の精神をもってほしいです。これは看護倫理にもいえることですが、赤十字で学んだからこそ、強みとなってほしいと考えます。赤十字に就職（実習もするから）学生から抜け出せない指示待ちの方が多いように思います。看護師は何をする人か、今私にできる看護はなにかを考えられる人に卒業時になっていることを期待します。
- ・引き続き、就職支援をお願いします。
- ・親元を離れ、新たな環境、人間関係の中でも頑張っています。精神面での強さ、レジリエンス、向き合いに取り組む姿勢のある新人看護師は成長すると考えます。
- ・正しい知識を身に付け、自己で考える力を養っていただきたいです。
- ・新人看護師全般について過大過小なく自己を客観的に捉え行動できること、レジリエンス力を持てるような教育、卒業時の能力を望みます。採用された新人には皆に望むことですが、「赤十字」の教育機関で育った人にはよりリーダーシップを発揮し、「赤十字」を意識した行動を期待します。
- ・DS等工夫されているのに活用していないので、蛇足かもしれませんが、学生の時の情報がもう少しあれば配置や卒後教育など配慮できることも多いと思います。
- ・本人は、頑張って出勤し仕事しております。しかし、学ぶ姿勢や態度で周囲から声をかけられることが多く、誤解されやすいと感じます。社会人になってから、そういう姿勢が出るのではなく学生時代から見えていたのではないかと感じます。「患者中心の看護」を考え、「質の高い看護ケア」を提供する上では、とても重要な部分と感じます。自分たちは「見られている立場」どこかの機会伝えていただければ幸いです。
- ・自分優先ではなく患者優先の看護を学んでほしいです。
- ・現場では人との関わりが重要になります。コミュニケーションや接遇に力を入れてほしいと思います。
- ・院内の研修のグループワーク等の様子を見る中で、自分の意見を整理し、相手に伝える力、プレゼンテーション力がとても身につけていると感じます。
- ・毎年、多くの卒業生の就職をありがとうございます。しっかり教育をされてきたという印象を受けます。クリティカル領域を好む学生が多いようですが、必ずしも配属はされないことをご了承ください。個人によるところもあるかとも思いますが、社会人として年齢、世代の異なる人と協働する力があるとすると、人間関係の構築につながると思っております。
- ・貴校の卒業生は、当院では未だ半年なので、今後学習と実践力が拮抗してくるのではないかと思います。（今は実践力が低いので）とても楽しみしており、長く当院に勤めてほしいと思います。
- ・DSの活用方法について、大学と卒業生とで共有していただけるとよいかと思います。当院では、入職後新人看護師本人とチューター、新人教育担当等の他者として「社会人基礎力」を3ヵ月ごとに評価し、課題を明確化しています。大学でのDSと入職後の「社会人基礎力」評価とで、新人看護師本人が自己の成長を実感できると思います。